

最近のブラジルレアルについて

<対円で大きく上昇>

足元のブラジルレアルは、4月4日に発表された日銀の「次元の違う」金融緩和策を受けて市場で円安が進んでいることから、対円で2011年7月以来となる1レアル=50円台に近づいています。

2012年以降、ブラジルレアルは対米ドルでは1米ドル2.0～2.1レアルを中心に比較的安定して推移してきましたが、2013年に入ると、対米ドル、対円でともに上昇しました。3月にはブラジル当局がレアル売り、米ドル買いに相当する市場介入を行ったためやや下落し、その後、対米ドルでは1米ドル=2.0レアルを挟んでの動きとなっています。

4月8日の海外終値では、1米ドル=1.99レアル、1レアル=49.89円となっています。

<利上げの可能性高まる>

ブラジルのインフレ率は、昨年7月から上昇を続けており、足元で上昇率が加速しています。2月のインフレ率IPCAは前年比+6.31%とブラジル中央銀行(BCB)の政策目標上限(6.5%)に近づき、インフレ懸念が高まりました。

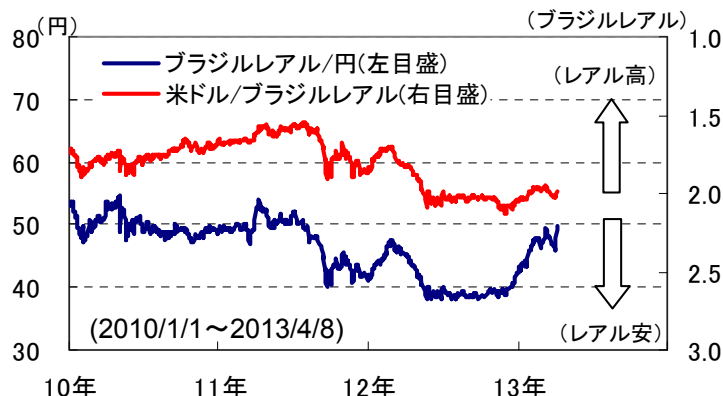
BCBは昨年10月に利下げを行って以降、この3月の金融政策委員会まで政策金利を据え置いてきましたが、声明文では利上げの可能性を示唆しています。

<レアルは堅調見通し>

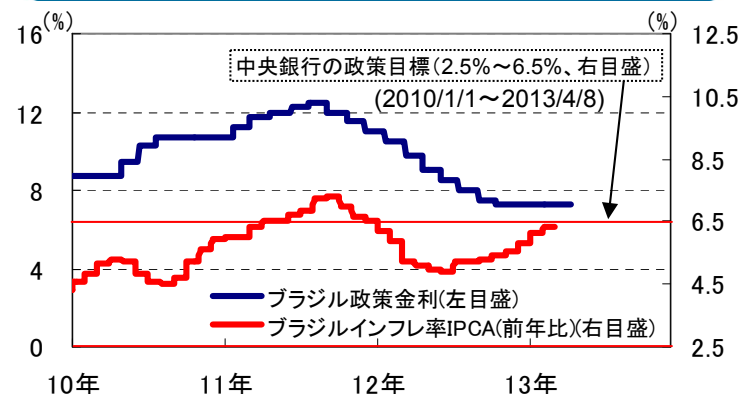
市場では、世界的に景気が緩やかに回復するとの期待からリスク選好的な動きが続いています。このような環境において、レアルは相対的に金利水準が高いことに加え、利上げの可能性が高まっていることなどから、米ドルや円に対して堅調に推移すると予想しています。当局の為替介入の可能性はありますが、市場ではこれまでよりややレアル高の方向が許容されると見られています。

また対円では、日銀が金融緩和の期間について「物価目標が安定的に持続するために必要な時点まで」と述べており、相応の期間、円安傾向が続くと考えられることから、対円でのブラジルレアルの上昇基調が続くと思われるでしょう。

<ブラジルレアル為替の推移>



<インフレ指標と政策金利の推移>



*政策金利は発表日ベース
インフレ率IPCA(前年比)は2010年1月～2013年2月

出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会